

令和5年度決算に係る

定期監査
資料
決算審査

令和6年7月

輝く鳥取創造本部 国際観光・万博課

組織改正に伴い業務を引き継いだ機関

輝く鳥取創造本部 国際観光課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 勧告事項	
	(2) 指摘事項	
	(3) 監査意見	
	(4) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料	8 頁
7	事業別実施状況調べ	9 頁
8	予備費の充用調べ	1 1 頁
9	現金の取扱状況	1 1 頁
10	財産に関する調べ	1 1 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	1 1 頁
12	借受不動産明細調べ	1 1 頁
13	職員駐車場の管理状況調べ	1 1 頁
14	寄附物件の受納状況調べ	1 1 頁
15	備品の処分状況調べ	1 1 頁
16	貸付金等状況調べ	1 1 頁
○	意見、要望等	1 1 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 勧告事項・・・該当なし

(2) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
1 予定価格の決定について 台湾旅行社の県内視察に係るランドオペレーション業務委託契約外2件について、予定価格調書を開札後に作成していたので、今後このようなことのないよう適正な事務処理を行われたい。	支出負担行為が適切に行われるよう、担当者及び上司が規定を再確認し、起案時に課員・上司による確認を怠らないように課内で周知済。

(3) 監査意見・・・該当なし

(4) 決算審査意見・・・該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合 計		備 考
	6.4.1 現 在	5.8.1 現 在							
定 員	12	17	0	0	0	0	12	17	
現 員	(2) 14	(5) 18	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(2) 14	(5) 18	派遣2名（一般社団法人山陰インバウンド機構）
過不足(△)	2	1	0	0	0	0	2	1	
臨 時 的 任 用 職 員									
会 計 年 度 任 用 職 員	6	6	0	0	0	0	6	6	事務2名 国際交流員4名

4 役付職員の調べ

(令和6年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
国際観光課長	谷本 敦		1 1	
課長補佐	竹中 和彦	3	3	
課長補佐	石田 周一	2	3	
課長補佐	藤岡 慎也	1	2	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財 源 内 訳													
		国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源										
新型コロナから立ち上がるインバウンド観光促進事業	335,158	278,853			56,305										
将来ビジョン	1 ひらく (1) 国内外の旅行者が増加するとともに、多様な分野の海外交流が進展														
令和新時代創生戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 鳥取+ism (1) 観光・交流 ①豊かな観光資源を活かした戦略的観光立県 SDGs目標：08 働きがいも経済成長も														
政策項目	IV 暮らし新時代 ⑧ジオ・星・食・自然・温泉や歴史・文化・マンガを活かし外国人宿泊客25万人へ														
<p>1 事業の目的、概要 国際定期便の運航再開や新規路線の誘致を推進するとともに、外国人観光客誘致を促進するため、東アジア主要市場（韓国、中国、香港、台湾）、東南アジア市場、欧米豪市場向けにSNS等を通じた情報発信、現地旅行会社やOTA（インターネットで取引を行う旅行会社）と連携したプロモーション等に取り組む。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>○韓国誘客対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米子ソウル便（エアソウル）は、令和5年10月25日に約4年ぶりに週3便で運航再開。 ・運航再開や運航再開後の搭乗率向上を目的としたプロモーションをエアソウルや旅行会社と連携して実施するとともに、県公式SNS等を活用した本県魅力発信に取り組んだ。 ・運航再開後の搭乗率は88.0%（令和5年10月25日～令和6年3月31日）と高い搭乗率で推移。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主な取組</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>航空会社や旅行会社との連携</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・エアソウルと連携し、運航再開を見据えた各種プロモーションを実施 運航再開記念キャンペーン（7月）、ECモールでの販売促進プロモーション（8月）、ソウル市内でのバスラッピング広告（10月）、運航再開初便での記者団招聘（10月）、クーポンブックの制作及びキャンペーン（10～3月）、韓国有名Youtuberの招聘（12月）、エアソウルキャビンアテンダントによる県内取材（12月） ・大手旅行会社と連携し、ホームページ上での運航再開記念商品販売（10月）、韓国テレビショッピング放映（7回）、韓国旅行社によるFAM（取材）ツアー実施（2回） ・知事トップセールスによる韓国観光情報説明会の実施（7月）、県内視察・商談会の実施（12月、32社67名参加） </td> </tr> <tr> <td>情報発信</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ソウル国際観光展（5月）、日韓交流おまつり（10月）、韓国旅行博覧会「Travel show」（11月）に鳥取県観光ブースを出展 ・知事訪韓にあわせて韓国メディアによる知事インタビュー収録（7月） ・JR西日本が主催する韓国商品説明会に出席し本県観光素材を説明（3月） ・鳥取県公式SNS（ブログ、Facebook、Instagram、YouTube）を通じて本県の旬な観光情報を定期的（週3回程度）に発信 </td> </tr> </tbody> </table> <p>○香港誘客対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米子香港便（香港航空）は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年2月18日以降欠航となっていたが、令和5年7月18日～8月20日に15往復の香港からのチャーター便が米子鬼太郎空港に就航。（搭乗率82.0%） ・令和5年12月18日～令和6年2月26日には、3年10か月ぶりに定期便（季節運航）が就航。（搭乗率60.3%） ・航空会社や旅行会社と連携したプロモーションを行うとともに、インフルエンサー等を活用した観光情報発信に取り組んだ。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主な取組</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>航空会社や旅行会社との連携</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・香港の大手旅行会社と連携したチャーター便就航に合わせたSNSやWEB広告等での集中的なプロモーションの実施（7～8月） </td> </tr> </tbody> </table>						区分	主な取組	航空会社や旅行会社との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・エアソウルと連携し、運航再開を見据えた各種プロモーションを実施 運航再開記念キャンペーン（7月）、ECモールでの販売促進プロモーション（8月）、ソウル市内でのバスラッピング広告（10月）、運航再開初便での記者団招聘（10月）、クーポンブックの制作及びキャンペーン（10～3月）、韓国有名Youtuberの招聘（12月）、エアソウルキャビンアテンダントによる県内取材（12月） ・大手旅行会社と連携し、ホームページ上での運航再開記念商品販売（10月）、韓国テレビショッピング放映（7回）、韓国旅行社によるFAM（取材）ツアー実施（2回） ・知事トップセールスによる韓国観光情報説明会の実施（7月）、県内視察・商談会の実施（12月、32社67名参加） 	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ソウル国際観光展（5月）、日韓交流おまつり（10月）、韓国旅行博覧会「Travel show」（11月）に鳥取県観光ブースを出展 ・知事訪韓にあわせて韓国メディアによる知事インタビュー収録（7月） ・JR西日本が主催する韓国商品説明会に出席し本県観光素材を説明（3月） ・鳥取県公式SNS（ブログ、Facebook、Instagram、YouTube）を通じて本県の旬な観光情報を定期的（週3回程度）に発信 	区分	主な取組	航空会社や旅行会社との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・香港の大手旅行会社と連携したチャーター便就航に合わせたSNSやWEB広告等での集中的なプロモーションの実施（7～8月）
区分	主な取組														
航空会社や旅行会社との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・エアソウルと連携し、運航再開を見据えた各種プロモーションを実施 運航再開記念キャンペーン（7月）、ECモールでの販売促進プロモーション（8月）、ソウル市内でのバスラッピング広告（10月）、運航再開初便での記者団招聘（10月）、クーポンブックの制作及びキャンペーン（10～3月）、韓国有名Youtuberの招聘（12月）、エアソウルキャビンアテンダントによる県内取材（12月） ・大手旅行会社と連携し、ホームページ上での運航再開記念商品販売（10月）、韓国テレビショッピング放映（7回）、韓国旅行社によるFAM（取材）ツアー実施（2回） ・知事トップセールスによる韓国観光情報説明会の実施（7月）、県内視察・商談会の実施（12月、32社67名参加） 														
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ソウル国際観光展（5月）、日韓交流おまつり（10月）、韓国旅行博覧会「Travel show」（11月）に鳥取県観光ブースを出展 ・知事訪韓にあわせて韓国メディアによる知事インタビュー収録（7月） ・JR西日本が主催する韓国商品説明会に出席し本県観光素材を説明（3月） ・鳥取県公式SNS（ブログ、Facebook、Instagram、YouTube）を通じて本県の旬な観光情報を定期的（週3回程度）に発信 														
区分	主な取組														
航空会社や旅行会社との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・香港の大手旅行会社と連携したチャーター便就航に合わせたSNSやWEB広告等での集中的なプロモーションの実施（7～8月） 														

	<ul style="list-style-type: none"> ・香港航空及び香港の旅行会社と連携した定期便就航に合わせた集中的なプロモーションの実施（12～2月）
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・香港メディアによる桜花見FAMツアー（4月） ・鳥取県内のドライブに最適な観光地等を紹介するFAMツアー（5月） ・レンタカー、グランピング及びキャンプ場を中心に紹介するFAMツアー（7月） ・香港ブックフェア出展（7月） ・マカオメディアFAMツアー（7～8月） ・鳥取酒旅子（とっとりさけたびこ）FAMツアー（9月） ・家族旅行プロモーションFAMツアー（11月） ・香港インフルエンサー風信子（かぜのぶこ）FAMツアー（11月） ・冬の観光素材の魅力発信FAMツアー（2月） ・在香港総領事館主催天皇誕生日レセプションへの鳥取県ブース出展（2月） ・岡山県と連携した香港での旅行博覧会出展（2月） ・個人旅行者向け鳥取県ガイドブック作成（3月） ・香港在住の香港とっとり応援団との近況連絡会の開催や県観光パンフレット等の配架による情報発信（随時） ・鳥取県公式SNS（Facebook、Instagram、YouTube）を通じて本県の旬な観光情報を定期的に発信

○中国誘客対策

- ・米子上海便（上海吉祥航空）は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年2月11日以降欠航となっており、運航再開に向けて航空会社や旅行会社に働きかけを行うとともに、県公式SNS等を活用した観光情報発信に取り組んだ。また、令和5年8月に中国から日本への団体ツアーが解禁され、旅行会社による県内FAMツアーを集中的に実施した。

区分	主な取組
航空会社や旅行会社との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・上海吉祥航空と連携し以下のとおり鳥取県の魅力を広くアピール <ul style="list-style-type: none"> -上海市内商業施設の大型LED看板での鳥取県観光動画広告（15秒/回×60回/日7日間）（11月） -上海市内主要地下鉄のLED看板での鳥取県観光広告（15秒/回×27日間）（10月～11月） -上海吉祥航空の機内誌（1月号）及び公式SNSでの情報発信（計4回）（10月～1月） ・ANAと中国大手OTAのネット販売セールで、鳥取を目的地とした航空券を特別販売（6月） ・上海吉祥航空や中国の旅行会社によるFAMツアー実施（8月）
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・上海旅游産業博覧会に鳥取県ブースを出展し鳥取県観光情報をPR。旅行社14社と商談（5月、R6年3月） ・中国のSNS運営会社と連携し、「#日本夏日全攻略」を付けて日本の夏の楽しみ方を投稿すると、抽選でまんが王国とっとり満喫周遊パスが当たるキャンペーンを実施（6月～8月） ・2023国際冬季運動（北京）博覧会へ出展し「海の見えるグレンデ大山」をはじめとした本県の冬の楽しみ方をPR（9月） ・クレア北京事務所と連携し、日本語学習者を主な読者とする大連理工大学出版社の月刊誌「一番日本語（11月号）」で鳥取県観光地等を紹介 ・在中国日本国大使館での「日中平和友好条約締結45周年記念レセプション」で本県観光情報を紹介（11月） ・中国大手OTAのサイトに鳥取県特集ページを開設（7月） ・上海市の日系商業施設で開催された「上海ジャパンプランド」に出展し、観光PR及び県産日本酒PR販売を実施（1月） ・在中国日本大使館のSNSで鳥取県観光PR動画を配信（1月） ・上海市の日系高級店舗で開催された富裕層向けネットワーキングイベントに出展し、観光や食の魅力やPRし、中国富裕層とのつながりを形成（3月） ・県公式SNS（Weibo、Wechat、小紅書）を通じた鳥取県観光情報の発信（通年）

○台湾誘客対策

- ・台湾からの国際チャーター便・定期便誘致に向けて航空会社・旅行会社への働きかけを行うとともに台湾最大の旅行博「ITF」に過去最大の4ブースを出展。また、台湾で人気のインフルエンサーやTVタレントに「鳥取県観光大使」を任命し、本県の魅力を発信いただくなどのプロモーションに取り組んだ。
- ・9月には、台湾との観光交流の推進及び長期のチャーター便運航に係る覚書をタイガーエア台湾と締結した。
- ・10月28日～11月4日に2ツアー3往復の中華航空によるインバウンドチャーター便が鳥取砂丘コナン空港に就航⇒ 搭乗率 95.9%

区分	主な取組
航空会社や旅行会社との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾旅行社によるツアー造成のための県内視察（8月） ・長期のチャーター便運航に向け航空会社及び旅行会社を招聘した県内視察を実施（9月） ・台湾旅行社県内視察（9月、10月） ・台湾最大の旅行博（ITF）に台湾旅行社と連携し、過去最大となる4ブースを出展し鳥取県をPR（11月） ・台湾旅行社県内視察（3月） ・台湾航空会社及び旅行会社への現地プロモーション（6, 7, 8, 10, 12, 1, 2月）
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾の旅行雑誌等による鳥取県の桜特集の発信（4月） ・台湾で有名なインフルエンサーを招聘し県内取材及びSNS情報発信による鳥取県のPR（4月） ・台湾国際観光博覧会TTE2023に参加し鳥取県の観光PRを実施（5月） ・台湾で人気のあるブロガー3名を招聘、鳥取県のPRを実施（8月） ・台湾で人気の楽天ガールズやグルメ番組MCを鳥取県観光大使に任命（8月） ・台北での観光情報説明会・商談会に参加（8月） ※中国5県連携 ・鳥取県観光大使等による県内取材及びSNSによる情報発信（11月） ・台湾大商談会に参加し現地旅行社と商談（2月） ・台湾で人気のインフルエンサー等による県内観光地の取材及びSNSや雑誌を活用した情報発信（3月） ・BSS「生たまごBang」出演者による台湾現地ロケ・台湾特集番組の放送によるアウトバウンドの機運醸成（3月） ・訪日旅行をする際に多くの台湾人が閲覧するサイト「楽吃購（ラーチーゴー）」を招聘し、秋、春の集客をテーマに動画発信（随時） ・鳥取県公式SNS（Facebook、Instagram、YouTube）を通じて本県の旬な観光情報を定期的（週3回程度）に発信
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取と台湾との定期便化に向けた鳥取応援団、鳥取・台湾ファンクラブによる活動 ※鳥取応援団・・・鳥取と関係の深い13の旅行社を応援団として登録し、台北旅行博等において鳥取県PRを行うなど活動している。 ※鳥取・台湾ファンクラブ・・・県内在住で台湾にゆかりのある者など台湾ファンの方に定期的に台湾に関する旬な情報を発信するなど、定期便化に向けて機運醸成を図っている。（R5年度末時点の登録者数1500名強）

○東南アジア誘客対策

- ・東南アジアからの観光客誘致に向けて旅行会社との連携、県公式SNS等を活用した魅力情報発信に取り組んだ。

区分	主な取組
旅行会社との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・JTBと連携してシンガポールの旅行博（NATAS）に出展（8月） ・HISと連携して東南アジア向けにニュースレターを発出したほか、シンガポールの旅行博（NATAS）に出展（3月） ・シンガポールの旅行社と連携し鳥取市立東郷小学校との交流を実施（12月） ・マレーシアの旅行社と連携し、現地旅行博（MATTA）に出展（9月ほか） ・マレーシア旅行社を招聘し、県内視察を実施（11月） ・タイ旅行博（バンコク日本博（8月）、FIT（海外個人旅行）フェア（9月）、TITF（2月））に出展 ・タイで日本の文化を紹介する「SUGOI JAPAN」へ出展し、鳥取のカニの試食や観光情報をPR（2月）

情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県公式SNS（Facebook、Instagram）を通じて本県の旬な観光情報を定期的（随時）に発信 ・シンガポールのクリエイターによる県内視察の様子のSNSでの発信（2月）
------	---

○欧米豪誘客対策

- ・欧米豪からの観光客誘致に向けて旅行会社との連携、県公式SNS等を活用した魅力情報発信に取り組んだ。
- ・10月には、ニューヨークにおいて鳥取県の観光と食を発信するイベントを開催するとともに、現地観光団体や企業への知事トッププロモーションを実施。

区分	主な取組
旅行会社との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・HISと連携して欧米豪向けにニュースレターを発出したほか、パリ旅行博（IFTM・10月）ロンドン旅行博（WTM・11月）への出展や、HISニューヨーク支店によるツアー造成に向けた県内視察を実施（1月） ・JTBと連携し、ATWS2023への出展とあわせ、飲食店貸切で鳥取県の観光や食の情報発信を目的とした夕食会「Tottori Night」を開催（9月） ・現地旅行会社への定期的な（月1回）ニュースレターの配信
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・公式Facebook（英語・仏語、週3回程度）を通じて本県の旬な観光情報を定期的に発信（随時） ・とっとりメルシープランセス（元三朝町交流員のアラン・マリー氏が離任する際に「とっとりメルシープランセス」に委嘱）を起用した仏語圏向けSNS情報発信（随時） ・米豪市場向けオンライン商談会への参加（10月）

3 事業成果（改善状況）・課題等

(1) 事業成果（改善状況）

- ・米子鬼太郎空港発着の国際定期便の路線拡大、積極的な海外プロモーション等の効果により、平成30年の外国人延べ宿泊者数は約19.5万人に達したが、令和元年以降、国際情勢や新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界的な海外渡航規制の影響により、大幅に落ち込んだ。
- ・コロナ後は、コロナ禍を経て変化した旅の需要に対応するため、従来からの団体旅行対策に加え、個人・少グループに向けたプロモーションも積極的に実施した。
- ・航空会社や旅行会社への継続した働きかけと連携事業の実施等により、令和5年4月に韓国から9往復、7月には香港から15往復のチャーター便就航が実現した。その後も航空会社等との緊密な連携のもとプロモーションを重ね、10月25日に韓国からの国際定期便が週3往復で運航再開した。香港についても、12月18日から令和6年2月26日の間、週4便の季節運航として国際定期便が運航再開した。
- ・鳥取砂丘コナン空港においても、コロナ禍前からの台湾向けプロモーションを強化してきた結果、10月に4往復、令和6年3～4月に3往復のチャーター便が就航した。
- ・こういった取組を通じ、外国人延べ宿泊者数は徐々に回復しつつあり、対前年比でも大幅な伸びを見せている。

【県内での外国人延べ宿泊者数（令和5年1月～12月の計） 72,810人】

区分	韓国	香港	中国	台湾	東南アジア	欧米豪
宿泊者数(人)	9,020	12,560	9,540	11,070	3,470	6,120
対前年比(%)	1135.6%	1131.4%	1544.8%	2667.5%	218.3%	251.7%

※東南アジアは、タイ、シンガポール、マレーシア、ベトナム、インドネシア、フィリピンの合計
 ※欧米豪は、米国、英国、カナダ、フランス、ドイツ、豪州、ロシア、イタリア、スペインの合計

(2) 課題

- ・1日も早いソウル便のデイリー化、香港・上海便の運航再開、台湾便の新規就航に向けて、各市場の航空会社・旅行会社への働きかけ強化や連携したプロモーションを推進するとともに、訪日客の長期滞在が見込まれ、高付加価値旅行層のシェアが高い欧米豪市場や東南アジア市場を含め、多角的な市場からの誘客を促進していくことで外国人誘客数の増を図る。
- ・令和5年3月28日に鳥取・島根エリアが観光庁の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」モデル観光地に認定された。今後、山陰両県の関係団体等と連携しながら、本県独自の自然を活かしたアドベンチャーツーリズムなどの推進により、世界から選ばれる観光地づくりに取り組むことで訪日外国人の滞在期間延長や高付加価値旅行層の取り込みにつなげ、観光消費額の増を図る。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
大阪・関西万博を契機とした国内外誘客対策 ※令和6年4月より政策戦略本部関西本部万博推進室 に万博事業を移管	73,512				73,512
将来ビジョン	1 ひらく (1) 国内外の旅行者が増加するとともに、多様な分野の海外交流が発展				
令和新時代創生戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 鳥取+ism (1) 観光・交流 ①豊かな観光資源を活かした戦略的観光立県 SDGs目標：08 働きがいも経済成長も				
政策項目	IV 暮らし新時代 ⑧ジオ・星・食・自然・温泉や歴史・文化・マンガを活かし外国人宿泊客25万人へ				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>2025年に開催される大阪・関西万博に向けて本県展示ゾーンの設置準備等を進めるとともに、本県の豊かな自然・食や先人から引き継がれた伝統文化、他には無い独創的な産業などの本県の魅力を磨き上げ、万博開催期間中の鳥取県を万博のサテライト会場「とっとりリアル・パビリオン」として、国内外に発信することとし、市町村や関係機関等官民一体となって本県への誘客に向けた準備を行った。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>○大阪・関西万博パビリオン出展に向けた準備 関西パビリオンへの鳥取県ゾーン出展に向けて、展示基本計画を策定した。(～令和5年6月) 策定した展示基本計画をもとに、関係者との調整を進め、展示等設計を実施した。(～令和6年3月)</p> <p>○国内外誘客対策 大阪・関西万博に向けて、本県の魅力を国内外に発信するとともに、誘客、物産振興、持続可能な地域づくり等を推進するため市町村や関係機関が参加する「大阪・関西万博鳥取県魅力発信強化戦略会議」を開催し、官民一体となって万博を契機とした鳥取県の魅力発信・誘客について検討を行った。 (令和6年2月15日)</p> <p>○機運醸成 大阪・関西万博に向けた機運醸成を図るため次の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025大阪・関西万博機運醸成展示(10/23～31/県庁) ・開催PR横断幕等の設置(11/30～/県庁議会等他2カ所) ・県内主要駅で啓発チラシ等の配布(11/30～12/3) ・市町村、観光施設等でのポスター、ポップ、幟等の掲出 <p>3 事業成果(改善状況)・課題等</p> <p>(1) 事業成果(改善状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西パビリオン・鳥取県ゾーンで行う「まんが王国とっとり」の取組や観光情報発信を行う導入展示と「鳥取無限砂丘」での映像体験や虫眼鏡型デバイスでの魅力探索体験を行うメイン展示にむけた展示等設計が完了した。 ・市町村、関係機関が参加する「大阪・関西万博鳥取県魅力発信強化戦略会議」を開催し、大阪万博に向けた鳥取県の魅力発信、誘客に向けた体制整備を行った。 <p>(2) 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪・関西万博で鳥取県ゾーン展示により本県魅力を来場者にPRするとともに、大阪・関西万博に向けた誘客策「とっとりリアル・パビリオン」の着実な推進により、市町村・関係機関との連携した魅力的なコンテンツの発信など誘客プロモーションを行い、国内外観光客の本県誘致を推進していく。 <p>(参考)</p> <p>【2025大阪・関西万博の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開催期間：令和7年4月13日(日)～10月13日(月)184日間 2 開催場所：夢洲(大阪市臨海部) 3 来場者数(想定)：約2,820万人(うち外国人350万人) 4 テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン「Designing Future Society for Our Lives」 5 関西パビリオン出展府県：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県(共通展示のみ出展)、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県 					

【スケジュール】

- ・令和5年2月～6月 鳥取県ゾーン展示基本計画策定
- ・令和5年4月～令和6年10月 関西パビリオン建設工事
- ・令和5年10月～令和6年3月 鳥取県ゾーンの実施設計
- ・令和6年6月～令和7年2月 鳥取県ゾーンの展示工事
- ・令和7年4月13日 大阪・関西万博開催

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳 入	商工費国庫補助金	0	400,000,000	0	400,000,000	330,492,819	330,492,819	0	0	
	雑入	0	0	0	0	3,100	3,100	0	0	
	合 計	0	400,000,000	0	400,000,000	330,495,919	330,495,919	0	0	

∞

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額					支出済額 （決算額） B	支出済額の内訳		翌年 度 繰 越 額 C	差引残額 （不用額） A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及 び 繰越事業 費 繰 越 額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A		本 庁	出納機関			
	観光費	682,624,000	10,500,000	0	△ 3,000,000	690,124,000	578,805,090	576,330,090	2,475,000	0	111,318,910	
	合 計	682,624,000	10,500,000	0	△ 3,000,000	690,124,000	578,805,090	576,330,090	2,475,000	0	111,318,910	

（単位：円）

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
(観光費)										
国際観光推進費	47,995,000				47,995,000	38,745,783	0	9,249,217	80.7	・中国5県や関西地域、 東京都など他の地域と連 携した外国人観光客誘致 事業の実施 ・メールを活用した通訳 案内士による多言語観光 ガイドの整備等
新型コロナ から立ち上 がるインバ ウンド観光 促進事業	515,149,000	△ 100,000,000		△3,000,000	412,149,000	335,157,498	0	76,991,502	81.3	・旅行会社の本県旅行商 品造成・販売に係る経費 への一部支援 ・米子ソウル便を運航す るエアソウルや米子香港 便を運航する香港航空に 対して米子空港の着陸 料、施設使用料等の経費 を支援 ・国際定期便の運航が再 開しなかったことによる 現地メディアの県内取材 ツアー等の未実施
大阪・関西 万博を契機 とした国内 外誘客対策	45,480,000	35,000,000		0	80,480,000	75,986,120	0	4,493,880	94.4	2025大阪・関西万博 における関西広域連合構 成各府県で共同出展する 関西パビリオンに係る負 担金を負担するもの
一般社団法 人山陰イン バウンド機 構運営事業	74,000,000	△ 6,000,000		0	68,000,000	68,000,000	0	0	100.0	「観光地マネジメント」 の視点に立った地域の磨 き上げと、「山陰」を対 象エリアとした観光地域 づくりの中心となる機能 をもつ山陰インバウンド 機構の運営費を負担

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
国際定期便 再開に向けた緊急対策 事業	0	50,000,000		0	50,000,000	36,823,263	0	13,176,737	73.6	・韓国・台湾から国際 チャーター便が就航し、 今まで以上に海外・国内 向けのインバウンド・ア ウトバウンドプロモー ションを強化するととも に、チャーター便運航経 費等の支援を含めた緊急 対策を行った ・チャーター便運航経費 等支援実績の減に伴う執 行残
国際定期便 再開・新規 就航に向け た緊急対策 事業	0	15,000,000		0	15,000,000	12,295,000	0	2,705,000	82.0	外国人観光客への二次交 通情報の周知徹底、県内 民間事業者向け研修会や 現地巡回等を通じ、 キャッシュレスや多言語 対応など受入環境の充実 を図った
アドベン チャーツー リズム等を 活用した高 付加価値な インバウン ド誘客事業	0	16,500,000		0	16,500,000	11,797,426	0	4,702,574	71.5	アフターコロナの誘客戦 略として、本県の豊かな 自然を活かしたアドベン チャーリズム等の強化 により、高付加価値旅 行者など多様な層の誘客 促進を図り、世界レベル の観光地への磨き上げを 行う
目 計	682,624,000	10,500,000	0	△3,000,000	690,124,000	578,805,090	0	111,318,910	83.9	
合 計	682,624,000	10,500,000	0	△3,000,000	690,124,000	578,805,090	0	111,318,910	83.9	

8 予備費の充用調べ（別途提出）

該当なし

9 現金の取扱状況

該当なし

10 財産に関する調べ

(1) 公有財産

該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和6年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
47枚	0枚	28枚 12,490円	18枚

※タクシーチケット1枚を亡失。亡失報告書（指定様式）により報告（令和6年3月5日）

(3) 基金

該当なし

(4) 債権

債権DBに掲出済

11 財産の貸付け及び使用許可調べ

該当なし

12 借受不動産明細調べ

該当なし

13 職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

14 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

15 備品の処分状況調べ

該当なし

16 貸付金等状況調べ

該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

--

(2) 監査委員事務局に対する要望等

(例：日程、資料様式、その他監査に関する要望、改善点等)